



令和6年6月25日発行

# 立山町教育センターだより 号外 そふとめん 1

立山町教育センター 〒930-0221 立山町前沢 3318 TEL: 463-4407 FAX: 463-6622 URL: <http://www.tateyama-c.tym.ed.jp/>

令和6年度も区域内的の教育事情を「そふとめん」にて少しずつ先生方に発信したいと思います。ふと目を通していただければ幸いです。

## 通常訪問研修を終えて

## 利田小学校

研究主題：学びを実感し、主体的に学ぶ子供の育成

～「分かった」「できた」「がんばった」があふれる授業を目指して～

本校では、子供の思考を捉え、意識や思考の流れを具体的に想定し、「課題意識、個の追究、学び合い、まとめと振り返り」を考えながら単元構想をすること、対話を通して学びを深める指導や個に応じたきめ細やかな指導の充実を図ることを大切に研修を進めています。通常訪問研修では、その手立てについて研修しました。協議、指導助言により明らかになったことや、残された課題の一部を紹介します。

<明らかになったこと>

- ・単元構想を明示したことで、見通しをもって学習を進めることができた。また、子供の疑問を基に学習課題を作成したことで、考える必要感が生まれた。評価のルーブリック表を示すことで、子供が何をすればよいのか具体的に分かりスモールステップで安心して活動することができた。
- ・事前に段階を踏み、これまで学習してきたことや本人の得意なことを生かしながら学習を進めたり、活動を短いスパンで切り替えながら学習を組み立てたりすることで集中して学ぶ姿につながった。
- ・教材との出会いを大切にすること、子供に課題意識をもたせることで、興味をもって学習に取り組んでいた。また、これまでの学びを生かした単元構想により学習の積み上げができ、切実感をもった話合いとなる。

<残された課題>

- ・子供が課題に取り組む際には、ある程度解決の見通しをもたせてから取り組ませることで、より意欲的に学習できる。また、ペアやグループ学習を有効に行うために、どんなことを話し合うのかということ子供自身が分かるようにするとよい。
- ・教師の問い返しの言葉で、子供の思考を活性化させたり、ゆさぶったりできるようにする。思考のずれが生まれた部分を捉えて、全体に共有していくことが大切である。

利田の子供たちが育つための方法をたくさん教えていただき、よい研修の機会となりました。

文責 教務主任 深山 圭子



### 「ウェルビーイング」って何？

「身体的・精神的・社会的によい状態にあることを言い、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義等、将来にわたる持続的な幸福を含むもの」だそうですよ。最近、よく耳にする言葉ですね。